

平成30年度 3年「古典」シラバス《国語》

1. 科目・単位・履修学年・区分

古典・2単位・3年・必修

2. 使用教科書・副教材

- ①精選古典 B 古文編（東京書籍）・精選古典 B 漢文編（東京書籍）
- ②古文単語330（いいずな書店） ③必携新明説漢文（尚文出版）
- ④必携これからの古典文法改訂版～古文単語と一緒に学ぶ～（尚文出版）
- ⑤巻頭増補最新国語便覧（浜島書店）

3. 教科目標

- ①これまでの学習をもとに、さらに古典に親しみ、古文と漢文を読む能力を養う。
- ②センター試験等、各種試験に対応できる力を養う。
- ③古文と漢文とをバランスよく学ぶことで、日本文化について考え、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め生涯学習の基礎を培い、人生を豊かにする態度を身につける。

4. 授業方法・形態

一斉授業。講義、作業、発表を中心とする。教科書を用いながら、適宜、副教材や新聞等を取り入れ、生徒の理解力、表現力を伸ばす。

5. 評価方法・形態

評価は、定期考査（中間考査、期末考査、実力テスト）、臨時テスト、小テストを中心に、出席状況、授業への取り組み状況（関心・意欲・態度）、発言や提言（思考・判断）、課題提出などを総合的に判断して行う。

6. 評価の観点・評価基準

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したりするとともに、伝え合おうとしているか。 ・課題に積極的に取り組み、また、人の発言をよく聞くとともに、自分の考えを発言しようとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への出席状況 ・取り組み態度 ・発言等の意欲と内容 ・ノート点検
話す・聞く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・音読や朗読を行うことができるか。 ・課題学習やグループ学習の成果を、筋道立てて効果的に発表することができるか。 ・他の発表内容を聞き取り、適切な質問をすることができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組み態度 ・定期考査 ・発言の仕方や内容
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文を正確に書写することができるか。 ・課題学習やグループ学習において、自分の考えをまとめたり深めたりして相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書くことができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組み態度 ・定期考査 ・発言の仕方や内容
読む能力	<ul style="list-style-type: none"> ・音読や朗読に取り組んでいるか。 ・自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり、読書に親しんだりできるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・音読や発言
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・読解に役立てるための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身につけることができるか。 ・特に古典の基本的な言語事項が理解できるか。 ・特に漢字や語句に対する理解が広がっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・ノート点検

7. 授業計画

	単元・教材等	学習目標	時数
4月 ～	古文①〈随筆2〉 「徒然草」花は盛りに	文法的事項や語句に注意しながら、現代語訳を試みる。 作者のものの見方や考え方を理解する。	6
5月	漢文①〈十八史略〉	漢文の読み方を確認する。	4

	「鶏鳴狗盗」	史話を読み登場人物の置かれた状況と行動を理解する。	
6月	古文②〈随筆2〉 「玉勝間」兼好法師が詞のあげつらひ	・『徒然草』に現れている考え方と『玉勝間』との違いについて、理解する。	6
	漢文②〈史記〉 「韓信伝」 伏出袴下	・史記を読み、歴史上の人物の行動や心情について考える。 ・登場人物の生き方を通して、人間のあり方について関心を深める。 ・漢文の基本的句法について理解し、それに即して現代語訳する。	4
7月	古文③〈日記〉 「紫式部日記」 秋の気配 うきたる世	・日記を読み、作者の境遇や心情について読み取る。 ・文学史の学習を通して、主な日記文学作品やその特色、歴史等に関する知識を整理する。	6
9月	漢文③〈小説〉 「離魂記」	・中国の古典小説の特色を理解し、漢文を読む能力、文学に親しむ態度を養う。 ・作品に表れた思想や登場人物の心情を読み取る。 ・作品の背後にある思想を学び、文化の特質について考える。	8
10月	古文④〈物語〉 「源氏物語」車争い 須磨の秋	・光源氏と彼を取り巻く女性たちの物語を通して作品に親しむとともに時代を超えた人間の真実にふれる。 ・敬語法はもちろんこと、語り手の存在を意識して、助詞や助動詞、和歌の修辞法など確認する。 ・登場人物の人物像を確かめ、各場面における行動やその背景にある心情を理解する。	8
11月	漢文④〈白楽天と日本文学〉 「長恨歌」 「和漢朗詠集」	・唐代の代表的な詩人の作品の、詩としての表現上の特色を理解し、主題を的確にとらえる。 ・主題を的確にとらえ、作者の心情を理解し、作者の価値観や人柄について考える。 ・漢詩の時代による特色や詩の定型、押韻、構成、修辞法等を理解する。	8

12月	古文⑤〈評論〉 「無名草子」 「源氏物語玉の御櫛」	・既習の「枕草子」「源氏物語」「紫式部日記」を近代以前の人々がどのように読み、作者たちについてどのように捉えてきたのか、その論旨を読み取り、現代と相対化して、読みを深める。 ・国語便覧などを用いて、筆者や作品の時代背景、批評対象となっている人々や作品、登場人物、文学形態にも理解を深める。	6
1月	漢文⑤〈詩〉 「唐詩」過故人荘 月下独酌 兵車行 江南春	・近体詩の詩形・押韻・構成・対句表現について理解を深める。 ・漢詩の様々な描写に接し、そこに詠われているものを適確に捉える。 ・作者の心情を、その時の境遇に合わせて理解する。	5
2月	古文⑥〈俳諧〉 「芭蕉」「蕪村」「去来抄」	・芭蕉俳諧確立までの作風の変遷をたどり、円熟期の作風と、晩年の作風をそれぞれ理解する。 ・俳文と発句の関連から、発句の俳諧性を理解する。 ・蕪村の発句を特色で分類し、芭蕉との相違点を考える。	5

年間授業時数	70
--------	----